

2 - (5)	残された給食 ※	自分の命を支えている食べ物が、多くの人々の手を経て作られていることに気付く。
3 - (1)	川とともに ※	自然のすばらしさに気付くとともに、自ら進んで郷土の自然を守ろうとする意欲を育てる。
3 - (2)	命のバトン ※	人間の力を越えたものに対するいけい畏敬の念と、生命を大切にしようとする気持ちを育てる。
4 - (1)	わたしにできること	集団のなかで自分の役割と責任を果たすことの大切さに気付き、みんなと協力して主体的に活動しようとする意欲と態度を育てる。
4 - (2)	自分ひとりぐらい ※	一般的な約束や社会のきまりについて理解し、それらを守り人間としての生活を高める公徳心を育てる。
4 - (3)	ぼくが何をした！ ※	友達の心の痛みに共感し、勇気をもっていじめをなくしていこうとする意欲を高める。
4 - (4)	汗のにおい ※	働くことがみんなの生活を支えていることに気付き、成し遂げた喜びと社会に奉仕する喜びを知り公共のために役に立とうとする意欲を高める。
	仕事って何？ ※	あらゆる仕事は社会生活を支えるものであることを理解し、社会に貢献していこうとする心情を育てる。
4 - (5)	良太の家出 ※	自分勝手に家を飛び出した主人公を懸命に探す家族の姿から、改めて家族の深い愛情に気付く。
4 - (8)	となりの国 ※	最も近い国である韓国に目を向け、その国の文化を理解し、尊重する心を育てる。

注) 小学校道徳番組は平成15年度より「ひとみかがやくとき」から「笑顔いっぱい」にシリーズの名称が変更されている。※印は、「ひとみかがやくとき」シリーズを示す。

中学校

◆読み物資料

内容項目	資料名	ねらい	出典
1 - (1)	明日へ出発	心身の健康の増進を図り、節度と調和のある生活をしようとする態度を育てる。	☑1
	自然教室での出来事	望ましい生活習慣を身に付け、進んで心身の健康の増進を図ろうとする態度を養う。	☑1
	すてる思考の整理学	物や知識の望ましい整理の仕方を身に付け、自分の生活を充実させ、高めていこうとする態度を育てる。	☑1
	古びた目覚まし時計	時間を大切にし、日常生活の中で望ましい生活習慣を身に付けようとする態度を育てる。	☑1
1 - (2)	今、輝いて生きる	障害や失敗にくじけることなく、目標に向かって粘り強く努力しようとする意欲を高める。	☑1
	庄三郎の鎌	自ら信じる道を一筋に、高い目標にむかってやり抜こうとする態度を育てる。	郷
	私と部活動	希望と勇気をもって粘り強く着実にやり抜く態度を育てる。	☑1
1 - (3)	裏庭のできごと	自ら考え、責任をもって自主的に行動しようとする態度を育てる。	☑1
	自分はいつでも主人公	自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行しようとする態度を育てる。	☑1
1 - (4)	『忘れ残りの記』より	理想の実現を目指し、意欲をもって自己の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。	☑1

	木のいのち、木のころ	いのちを生かそうとする先人たちの知恵を謙虚に学び、真理や真実を愛する心情を育てる。	☑5
	クリームパン	真理を求めることのすばらしさに共感し、理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。	☑5
	在校生へのメッセージ	理想を追求し、生きがいを求め、明るく、ほりのある生活をしていこうとする意欲と態度を育てる。	☑5
	シュリーマンの夢	理想の実現を目指し、粘り強く自己の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。	☑5
	東京美術学校へ	真実を求め、理想の実現を目指して、もてる力を発揮し、自己の人生を切り開いていこうとする態度を育てる。	☑1
	農民画家ミレー	真理や真実を求め、絶えず努力することの大切さを理解し、自己の人生を切り開いていこうとする意欲を養う。	☑5
	二粒の朶あと	目標を定めて、根気と努力をもって真理を追究する態度を養う。	☑
	ベートーヴェン	真理を愛し、真実を求めることのすばらしさを知り、理想の実現を目指して生きようとする意欲を育てる。	☑5
	負けたくない	人間としての真実を尊重し、誠実に頑張っていこうとする意欲を育てる。	☑5
	夕立の日の真実	ものごとを深く、厳しく探求することの大切さを知り、積極的に真理を求め、自己の人生を切り開いていこうとする態度を養う。	☑5
1-(5)	美しいものを生活の中へ	日常の生活の中で個性を伸ばし、自己の向上を図ろうとする態度を育てる。	☑
	じいちゃんへ	自らの生活を振り返り自己の向上を図るとともに、個性や適性を伸ばして充実した生き方を求めようとする態度を育てる。	☑1
	自己観照	自分の適性や力を正しくつかみ、個性を伸ばし、よりよい生き方を求めようとする態度を育てる。	☑1
2-(1)	Vサイン	自分の行動が他に与える影響を考え、相手の立場を尊重する心情を養う。	☑2
	立ち読みおことわり	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた言動のとれる判断力を高める。	☑2
2-(2)	埋み火	思いやりの心について考えさせ、温かい人間愛の精神を深める。	☑2
	かけ合う一言の大切さ	思いやりの心を持ち、他の人に温かく接していこうとする態度を育てる。	☑2
	慶長の絆	人間愛の精神を深め、だれに対しても温かく接していこうとする心情を育てる。	☑2
	奈良の灯は消えず	人を愛することは、相手の人格を受け入れ認めることであることを理解し、だれにでも温かく接する態度を養う。	☑
2-(3)	いつも一緒に	心から信頼できる友達をもつことの大切さを理解し、友情を育てていこうとする態度を養う。	☑2
	紙やすり	友情の尊さを理解し、互いに相手を信頼し、共に向上しようとする心情を育てる。	☑2
2-(4)	さわやかな笑顔	男女が相互に理解を深め、相手の人格を尊重する心情を養う。	☑2
	森のバラード	互いに信頼と敬愛の念を持ち、健全な異性観を育てる。	☑2
2-(5)	遠足で学んだこと	それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に他に学び自己の向上を目指そうとする意欲を高める。	☑2

	茂の悩み	いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、個性や立場を尊重することのできる判断力を育てる。	㊦2
	人と人との交わり	自分と異なるものの考え方があることを理解し、それぞれの個性を尊重する態度を育てる。	㊦2
	山寺のびわの実	それぞれの立場や個性を尊重し、広い心で他に学び、自	㊦2
		己の向上に生かそうとする心情を育てる。	
3-(1)	うつくしきもの	自然を愛し、自然の中にある美しさに感動する豊かな心をはぐくむ。	㊦
	小雪と椎の木	自然や美しいものに感動する豊かな心を持ち、崇高なものや人間の力を超えたものに対して畏敬の念を深めていこうとする態度を育てる。	㊦3
	縄文杉の下で	自然を愛し、自然の中にある美しさに感動する豊かな心と、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めていこうとする心情を育てる。	㊦3
	不思議な光景	人間は有限なものであるという自覚を深め、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	㊦3
	雪ウサギ	自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めるようにする。	㊦3
3-(2)	生きがいを求めて	すべての生命がかけがえのないものであることを自覚し、与えられた人生をよりよく生きていくにはどうすればよいかを考えることのできる道徳的判断力を高める。	㊦3
	牛のお産	生命誕生の難しさと偉大さに気付かせ、生命あるものは互いに支えあって生きていることを深く自覚して、かけがえのない命を慈しみ大切に	㊦3
	たとえぼくに明日はなくとも	自己の生命を最大限に燃焼させ、精一杯に生きることの大切さを理解させ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	㊦3
	へその緒	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	㊦3
	ミハイルの夢	命あるものは互いに支えあって生きていることに気付かせ、人間もまた、生きとし生けるものとの調和の中で生きているという自覚を深めさせる。	㊦3
3-(3)	一番星	人間には弱さや醜さもあるが、それを乗り越え、人間としての誇りをもって崇高な生き方をしようとする意欲を高める。	㊦3
	終わりのない旅に	人間には弱さや醜さもあるが、それを克服する強さや気高さがあることを知り、人間としての誇りのある生き方をしようとする態度を養う。	㊦3
	二人の弟子	弱さや醜さに苦悩する人間に共感し、それを通して自分自身の弱さや醜さとも向き合おうとし、日常生活の中で	㊦3
		弱さや醜さを克服しようとする生き方を選び取ることができる道徳的判断力を高める。	
	銀色のシャープペンシル	人間には弱さや醜さもあるが、それを克服する強さや気高さもあることを信じ、人間としての誇りをもって生きようとする心情を養う。	㊦3
4-(1)	サッカー	自分が属する集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し、協力し合って集団生活の向上につとめようとする態度を育てる。	㊦4
	小さな一歩	自己が所属する集団における役割と責任を自覚し、自分の個性を生かして集団生活の向上のために協力しようとする意欲を育てる。	㊦4
4-(2)	今、思うこと	伝統と言われるきまりにも、自他の権利が侵害されるようなものがあることに気付き、それを改善していこうとする心情を養う。	㊦6
	傘の下	自他の権利を重んじ義務を確実に履行するとともに、公德心をもって社会の秩序と規律を高めていこうとする心情を育てる。	㊦6

	狂言「笛吹き」	きまりは、社会生活を円滑にするために、人間の良識、善意に裏打ちされたものであることを理解させる。	☑6
	時間よ戻れ	人間の弱さを克服して、社会のきまりを守っていこうとする態度を育てる。	☑6
	ダビデ像	勇気をもってきまりを守り、集団の一員として課せられた責任を確実に果たそうとする心情を養う。	☑6
	小さな町の小さな物語	きまりは、私たちが社会生活を円滑に営んでいくために、だれもが守らなくてはならない基本であるが、不合理と思われる部分は、集団の総意によって改善していく必要があることも考えてみたい。	☑6
	誓い	法とは社会生活に秩序を与え、信頼関係を築くものであることに気付かせ、法の原理についての理解を深める。	☑6
	友達を信じられないのか	きまりは、集団の中で豊かで健全な人間関係を築いていく基本になることを自覚し、広い視野に立った道徳的な判断力を養う。	☑6
	二通の手紙	秩序と規律のある社会を実現するために、社会の一員として自らに課せられた義務を確実に遂行しようとする態度を育てる。	☑6
	笛	私たちの生きている社会は、いろいろな価値観や考え方をもちたさまざまな人々の協同で成り立っていることを理解し、意見が異なったり権利の主張が衝突し合ったりする時にも、互いの権利を尊重して、コミュニケーションを深めながら、よりよい解決を目指そうとする意欲を高める。	☑6
	守りたいものは	法の意義や役割を理解し、その在り方について深く考えようとする態度を育てる。	☑6
	道	個人的な利害得失を乗り越えて、社会のルールを守ることに立ち向かっていこうとする意欲を育てる。	☑6
	郵便局のできごと	きまりを守ろうとするとき、とかく生じがちな心の葛藤について、自らそれを克服しようとする意欲と態度を育てる。	☑6
4-(3)	無人スタンド	社会の秩序や規律を高めることの大切さを理解し、公德心をもって行動しようとする態度を育てる。	☑4
	はばたけ青い鳥	利己心に打ち勝って、よりよい社会秩序を育てようとする心情を育てる。	☑4
	一座建立	社会の一員としての自覚を深め、公德心をもってよりよい社会の秩序と規律を高めていこうとする心情を育てる。	☑6
	雪と落葉	社会生活における法やきまりの意義を理解し、進んできまりを守ることによって社会の秩序と規律を高め、住みよい社会を築こうとする態度を育てる。	☑6
4-(4)	ゴールをめざして	だれに対しても公平に接し、差別や偏見をもたないように心がけることの大切さに気づき、よりよい社会を実現しようとする意欲を育てる。	☑4
	峠	社会連帯の精神をもって差別や偏見をなくし、よりよい社会を実現する意欲を育てる。	☑4
	いじめについて考える	弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない行為であるとの理解を深める。あわせて、よりよく生きたいという基本的な権利を守ることの大切さを深く感得させる。	☑6
4-(5)	加山さんの願い	社会への奉仕の気持ちを深め、それを実践しようとする態度を培う。	☑4
	たんぼぼ作業所	勤労の尊さを理解し、勤労を通して社会に奉仕する気持ちを深め、進んで社会の発展向上に努めようとする意欲を育てる。	☑4

4-(6)	一冊のノート	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての役割を果たし、充実した家庭生活を築こうとする自覚を深める。	☑4
	スダチの苗木	父母への感謝と敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚を高める。	☑4
4-(7)	涼一の記念碑	学級や学校の一員としての自覚をもち、互いに敬愛し学び合って学校生活を送ろうとする意欲を高める。	☑4
4-(8)	家の中の古代	地域社会の一員としての自覚をもち、郷土の歴史に対する理解を深め、明日の発展につくすようにする。	☑4
	奈良筆に生きる	先人の努力によって郷土の伝統が守られてきたことを知り、地域を愛し発展させていこうとする心情を養う。	郷
4-(9)	さよなら、ホストファミリー	国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、自分の国を愛そうとする心情を養う。	☑4
	二人の王様	日本人としての自覚をもって国を愛し、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に役立つとする態度を育てる。	☑4
4-(10)	リーさんのこと	国際社会の一員としての自覚をもって外国の文化や習慣を理解し、良き隣人として助け合うように努める。	☑4

注) 出典の ☑1 は、「文部省道徳教育推進指導資料(指導の手引)1」、以下 ☑2 は(指導の手引)2 を、郷は、奈良県教育委員会「小・中学校道徳教育用郷土資料」を示す。



☑1



☑2



☑3



☑4



☑5



☑6



郷

- ☑1 ……中学校 読み物資料とその利用
—「主として自分自身に関すること」— 平成3年
- ☑2 ……中学校 読み物資料とその利用
—「主として他の人とのかわりに関すること」— 平成4年
- ☑3 ……中学校 読み物資料とその利用
—「主として自然や崇高なものとのかわりに関すること」— 平成5年
- ☑4 ……中学校 読み物資料とその利用
—「主として集団や社会とのかわりに関すること」— 平成6年
- ☑5 ……中学校 真理や学ぶことを愛する心を育てる 平成7年
- ☑6 ……中学校 社会のルールを大切にすることを育てる 平成9年
- 郷 ……小・中学校道徳教育用郷土資料 平成2年



中学校編 (H12.3)

○人間関係にかかわる教材

「友達の輪」

- ◆ねらい…自己表現や他者受容の体験を通して、互いの人格を尊重し、信頼し合いながらよりよい人間関係を築いていくことの大切さを理解し、その意欲と態度を養う。
- ◆学習プログラムの流れ (全4時間)
 - 第1次…学級活動「友達の輪を広げよう」指導内容2
 - 第2次…総合的な学習の時間「何を持って行く？」
 - 第3次…道徳『言葉』を見直そう」2-(1)
 - 第4次…学級活動「受け止め合う体験をしよう」指導内容2

○生や死にかかわる教材

「『今、ここにある命』を生きる」

- ◆ねらい…今、自分が生きていることに感動し、かけがえのない生命の尊厳に気付くなど、自己の生き方への自覚を深め、自分の人生を意義あるものとして送ろうとする心情と意欲を高める。
- ◆学習プログラムの流れ (全4時間)
 - 第1次…道徳『生きている』と感じる時」3-(2)
 - 第2次…道徳「笑って泣いて生きてきた」3-(3) (2時間扱い)
 - 第3次…道徳「生まれてきてよかったと思える人生」1-(5)

○ボランティア活動にかかわる教材

「支え合い、共に生きる」

- ◆ねらい…友達のよいところさがしや車いす体験を通して、自己理解や他者理解を図り、私たちが支え合い、共に生きていくためには、互いに違いを認め合いながら自分にできることを見つけ、実行していくことが大切であることを理解し、自分も行動を起こしていこうとする態度を養う。
- ◆学習プログラムの流れ (全5時間)
 - 第1次…学級活動「いろいろな仲間がいるんだな」指導内容2
 - 第2次…道徳「違いを認め合い、輝いて生きる」1-(5)、2-(2)
 - 第3次…総合的な学習の時間など「車いすに乗ってみよう」(2時間扱い)
 - 第4次…道徳「人として私の生きる道」4-(3)

○男女の共生にかかわる教材

「共に築く豊かな社会」

- ◆ねらい…知らず知らずのうちに、男女の姿や役割に対する固定されたイメージができあがっていることに気付くとともに、自分のもつ個性や能力を発揮しながら生き生きと活動できる社会の実現に向けて、男女それぞれが互いの人権を認め合い、協力し合って共に生きていこうとする意欲を高める。
- ◆学習プログラムの流れ (全4時間)
 - 第1次…総合的な学習の時間「どうなっているのかな」
 - 第2次…道徳「これでいいのかな？」4-(4)
 - 第3次…道徳「あなたの考えは？」2-(4)
 - 第4次…道徳「私たちが作る社会は？」1-(5)、2-(2)

◆ビデオ教材

中学校特別活動番組

中学生時代シリーズ

よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について考えるのに役立つことをねらいとして作成されている20分番組。学級活動や道徳の時間の資料として活用できる。

ビデオ教材とともに活用に応じたテキスト「学校教育番組・生涯学習番組配布ビデオ教材テキスト」（奈良県立教育研究所）も各学校に配布済みである。



題名	内容
キレるって…	相手とのコミュニケーションを大切にしながら、協力して活動する重要性について考える。
在校生へのメッセージ ～卒業の日に～	これまでの自分自身を振り返り、自己の人生を切り開いていくためには、どのような心構えが必要かについて考える。
自分を見つめて	文化祭に向けて取り組む劇の練習を通して、真剣にぶつかり合う中で、相手の立場に立ち、互いを認め合う大切さについて考える。
笑顔でボランティア	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって福祉と社会の発展に努めることの意義について考える。
行ってみよう、学んでみよう ～車椅子からのレポート～	すべての人間が安全で快適な生活をしていくための社会の在り方を共に考える。
14歳の挑戦 ～夢さがし自分さがし～	職場体験を通して、社会を支えている人々の自分の仕事に対する誇りや思いを知り、働くことの意義を実感として捉える。
どうして？	問題行動に走る中学生の心について考え、目標をもって充実した日々を送ることの素晴らしさを訴える。
君の未来は君がひらく	なかまとの夢と、体裁や世間体を気にする大人のエゴのはざまで悩む主人公の姿から、進路の選択について考える。
偽り	バタフライナイフを持ち歩く主人公の苦しみを共有し、共に悩む友人や周囲の人々とのかわりを通じて、本当の勇気とは何かを考える。
女がいい？男がいい？	男女がそれぞれ互いの個性を大切に、自分らしく生きることについて考える。
支え合うって	家族にまつわる問題から揺れはじめた主人公が、やがて家族の絆や周囲の人々の献身的な活動に触れていく過程を描く。
そんなら どうしたらええねん	クラスメートの何気ない「ガイジ」発言や車いす椅子の弟をもつ主人公の訴えなどから、人間としての生き方について考える。
私も必要とされて生まれてきた	自分は生まれてこなかった方が良かったのではないかと悩む生徒の姿を通じて、かけがえのない生命の大切さについて考える。
私が言いたいこと	一人の生徒が「私が言いたいこと」をアピールするまでの本人や周囲の苦しみや葛藤を通じて、人としてどう生きるかを考える。
輝く朝（あした）に	母や、公園の清掃をする高齢者の生き方から、ボランティア活動に関心を高める中学生の姿を描く。
どうして何もしないの？	いじめに悩む中学生やその友人たちの姿を通じて、いじめを見て見ぬふりをしないなかまづくりについて考える。
あなたの進路、あなたの将来	進路選択を控えた中学生が、自分の進路について調べ、将来の生き方を考える姿を描く。
ともに生きる	民族文化祭に集う在日韓国・朝鮮の人々や日本人生徒の姿を通じて、人権を尊重して共に生きる道を探る。